



POSC (Pachinko-Pachislot Organization of Social Contribution)

一般社団法人
パチンコ・パチスロ社会貢献機構

〒162-0844

東京都新宿区市谷八幡町16 市ヶ谷見附ハイム103

TEL 03-5227-1047 FAX 03-5227-1049

<https://www.posc.or.jp>

2025年9月発行



POSC

パチンコ・パチスロ依存問題への
支援活動報告

一般社団法人パチンコ・パチスロ社会貢献機構

一般社団法人 パチンコ・パチスロ社会貢献機構の主な事業内容

(一社)パチンコ・パチスロ社会貢献機構(POSC)は、遊技業界や民間、公的機関などと連携・協力しながら、以下の事業を中心に活動しています。

助成事業 — 社会に今、最も必要とされる研究や活動への助成 —



一般社団法人 フードバンクあきた
「子どもの自意識向上と学習機会の
確保に寄与する支援活動」事業



特定非営利活動法人 制服バンク福岡
「学生服おゆずり会」事業

顕彰事業 — 遊技業界が実施した社会貢献活動を顕彰 —

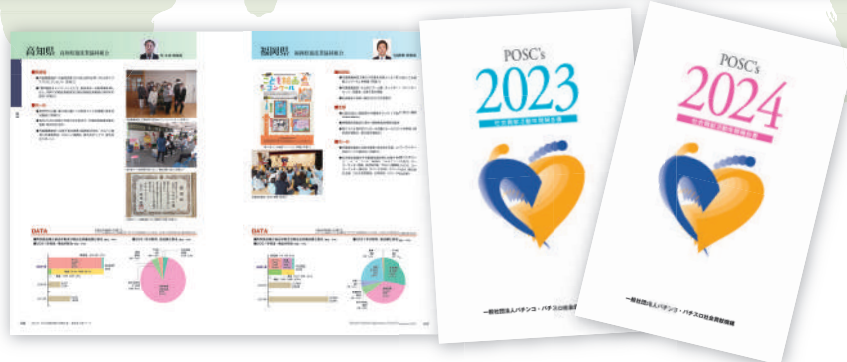


埼玉県遊技業協同組合・埼玉県遊技業防犯協力会
「埼玉県・埼玉県警と連携した地域防犯
活動及び店舗等安全対策の推進」事業



香川県遊技業協同組合
「『香川パチンコ・パチスロの日』を制定、
社会貢献の一環として『地域清掃活動』を実施」事業

活動報告書の作成・配布



パチンコ・パチスロ依存問題への支援活動

(一社)パチンコ・パチスロ社会貢献機構では、全国のパチンコ・パチスロホール組合の連合組織である全日本遊技事業協同組合連合会(全日遊連)や遊技業界とともに依存問題の予防や解決に取り組むNPO法人・団体を2006年から20年以上にわたり積極的に支援しています。



パチンコ・パチスロ依存問題に取り組む 団体への助成

各都道府県組合と協力し、毎年、活動を支援しています。

特定非営利活動法人 リカバリーサポート・ネットワーク

「ぱちんこ依存問題に関する相談 および回復支援」事業

遊技産業からの出向者や遊技産業での勤務経験を持つスタッフが行う電話相談事業、広報・啓発事業（ニュースレター発行、啓発ポスター、自己診断アプリなど）、支援・連携活動事業（公的研究への協力、回復施設などとの連携・協力）、セミナー、講演会などの企画開催、などの活動を実施。



認定特定非営利活動法人 ワンダーポート

「依存の問題を抱える人を対象とした 個別相談・支援」事業

日本初のギャンブル依存症回復（入所）施設として2000年に設立。パチンコ・パチスロ依存問題を抱える人や家族への支援（面談、入所支援、余暇支援、生活支援など）を行い、これまで1,000人を超える人々に寄り添い、社会参加の手助けを行った。また、全国各地でセミナーを開催し情報を発信している。



● 2024年度

一般社団法人 日本自立準備ホーム協議会

「依存症により罪を犯した人たちへの回復支援」事業

ギャンブル・アルコールなどの依存は、少年院や刑務所を出所した人の再犯要因のひとつとされている。自立準備ホームの全国組織は、こうした課題に対応するため、スタッフの支援力向上を目的とした研修会・勉強会を全国6ヵ所で開催。専門家を招き、実践的な対応スキルの習得を図った。



特定非営利活動法人 ちゅーりっぷ会 長崎ダルク

「依存問題に海を活用した回復支援と普及啓発」事業

長崎市を拠点とする「ちゅーりっぷ会 長崎ダルク」は、POSC助成を活用しギャンブルなどの依存問題の回復支援として遊漁船運営や漁業を通じて就労機会を提供。また、児童福祉施設の子どもたちを招いた「こどもキャンプ」では、釣りや自然体験を通じて命の大切さや生きる喜びを伝える活動も行った。



● 2023年度

依存問題について理解を広めるフォーラムin山形 実行委員会

「依存問題について理解を広めるフォーラム in 山形」事業

共同助成：山形県遊技業協同組合

「依存」についての正しい知識と理解を深めることを目的に、山形県内で行われている依存への対策や取り組みについて理解を深めるフォーラムを開催した。医学的な視点や公的機関による支援策、当事者の苦しみなどを具体的に紹介し、新聞メディアでの周知・啓発も行った。



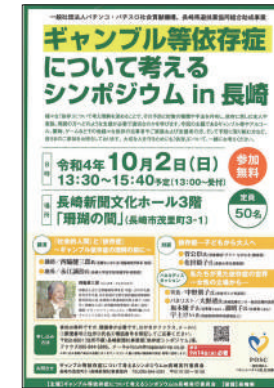
● 2022年度

ギャンブル等依存症について考えるシンポジウムin長崎 実行委員会

「ギャンブル等依存症について考えるシンポジウム in 長崎」事業

共同助成：長崎県遊技業協同組合

ギャンブル等依存問題に関する偏見や差別の解消を目指し、正しい知識と理解を深め、依存問題の未然防止と依存症者や家族に対する適切な治療・支援につなげるためのシンポジウムを長崎市で実施した。依存問題の具体的事例や回復への道筋を知る機会となった。



一般社団法人 リカバリーライフ

「依存症回復と啓発のための社会貢献」事業

共同助成：兵庫県遊技業協同組合

依存症は誰もがなる可能性があり、早期介入や適切な支援によって回復が可能である。そうした情報を若年から知ることは、依存症の予防や増加を防ぐことにつながるため、新成人を読者対象とする啓発冊子の作成と依存症回復支援活動を併行して実施した。



依存問題についての理解を広めるフォーラム 実行委員会

「依存問題についての理解を広めるフォーラム in 茨城」事業

茨城県における依存問題の現状について理解を深め、依存予防に取り組むために、有識者による基調講演やパネルディスカッション、茨城県遊技業協同組合による取り組みの報告といった内容の啓発フォーラムを実施した。フォーラムの様子は茨城新聞紙面で紹介した。

